

輝き

飯豊中学校
生徒指導だより
2022/03/11(38号)
文責 小林豊和

みんなで作る卒業式に



3年生、最後の学年集会。学年主任の中川先生がお話をされました。

【3年生全員で卒業式を迎えよう】

自治会長の渡部琉碧さんがこんな言葉を仲間に伝えました。

【最後まで、先輩として生活していこう】

それぞれ想いのこもった言葉を聞いて、胸が熱くなりました。

そして、校長先生が出された「校長室より」を思い出しました。

3 / 3 校長室より 458

つらいことを 誰にも言えず
自分の胸の中に 押しとどめて
人の前では 笑顔をつくってみせるような
そんな生徒はいないか

言いたいことがあっても
互いに傷つくことが 本当にかわくて
ただ黙って 耐えているような
そんな生徒はいないか

言葉や行動に示したことで
思いもよらず こじれて 面倒くさくなって
その感情のやりとりに 心底疲れきっている
そんな生徒はいないか

まもなく修了式、卒業式を迎えるからこそ
晴れやかな気持ちの一方で
こうした率直な思いが 湧いてきているのが
今の 私の
正直なところですよ



「全校生にとって居心地の良い飯豊中」を目指し、今年度がスタートしました。

全校生178人、一人ひとりが本当にかげがえのない存在です。一人ひとりが宝物です。

今、自分の周囲を見渡したとき、寂しそうな表情を浮かべている仲間はいませんか？
ひとりぼっちでいる仲間はいませんか？
なかなか学校に来ていない仲間はいませんか？

きっと、そんな仲間をみなさんの優しさが救ってくれるのではないのでしょうか。

「自分ができる具体的なことは無いのか」を一人ひとりが本気で考え、考えたことを表現してほしいと願っています。やっぱり思います。

「178人みんなが参加した卒業式がしたい」と。

